

第10回 奈良交通路線バス(ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線)
利用促進に向けた三者協議概要

日時 令和7年4月20日(日) 午前9時30分～午前11時00分
場所 生駒市図書館
参加者 住 民：10名(ひかりが丘2名、あすか野8名)
事業者：奈良交通株式会社3名
行 政：生駒市(防犯交通対策課)2名
コンサルタント：システム科学研究所3名、ティデザイン1名
話 題 (1)今後の議論に向けた情報共有
(2)ワーク実施
(3)次回について

概要

- (1) 今後の議論に向けた情報共有
 - ・行政から、ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線の現状や目標人数、三者協議の目的、これまでの協議内容等について説明があった。
- (2) ワーク実施
 - ・各参加者が、利用促進の取組として、今年度に自分たちでできること・やりたいことを考えて、発表して全体に共有した。

(主なアイデアや意見は、次頁以降に整理)

①地域・市民が主体の取組

<p>短期</p>	<p>イベント連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老人会でのおでかけ時にバスを利用する（既に実施計画中）。 ・ハイキングサークルでおでかけマップを活用する。 ・住民も知らない市内の名所をおでかけマップで宣伝する。 <p>マップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マップに関連した取組をおこなう。 <p>自治会で動く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会メインでPRをして、ムーブメントを起こす。 ・バス問題を自治会の協議テーマに設定する（実施済みの自治会あり）。 <p>共同購入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会や家族等で利用できる無記名方式の定期券を共同購入する。 <p>調査する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスを利用しない理由を調査・共有した上で、利用促進の取組を考える（例、子育て世代でも、利用しない理由がある）。 ・ターゲットの明確化が必要である（必要性のある移動か、楽しみ・レジャーのための移動か）。 <p>支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乗る以外の支援方法を考える。 ・寄付やクラウドファンディングができるようにする。 ・サポーター制度の方法を具体化する。
<p>中長期</p>	

※「支援」は、市も関連する取組

②行政と連携した取組

<p>短期</p>	<p>呼びかけ・働きかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去に実現した取組（例、ふるさと納税）を広報する。各種団体から呼びかけてもらう。 ・奈良交通のゴールドパスの活用方法を免許返納者に PR する。 ・生駒市老人クラブ連合会に、公共交通への寄付と、利用促進の取組を活動方針へ追加することを働きかける。 <p>市の広報物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の広報紙に、運転士募集の記事を掲載する。 <p>生きいきクーポン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生きいきクーポン券から奈良交通ゴールドパス（65歳以上限定のCI-CAカードで3ヶ月券と6ヶ月券があり、期間中は半額でバスが利用できる。）へのチャージをPRする。 <p>異業種（ILBH）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の事業者と連携して、利用促進に向けた新プロジェクトを発足する。 ・ILBH（Ikoma Local Business Hub）の卒業生と連携する。 <p>イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス運賃100円DAYの開催日を市が早めに周知し、連携して取り組む。 ・バス利用が必要となる飲酒関連のイベントや店舗連携を実施する。 <p>乗車券</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス利用者を対象として、地域の店舗と連携した割引を実施する。 ・医療と連携した乗車券配布（例、子どもの定期健診利用時の補助）を実施する。 ・バスでの市内観光周遊パスを企画・販売する（有効期限1年間などがベスト）。
<p>中長期</p>	<p>実証運行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスの便数を試験的に増やす（例、夜間）。 ・試験的増便を自治会メインでPRして、ムーブメントを起こす。 <p>渋滞解消</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東生駒駅から生駒駅へ向かう道路で、信号で長時間待たされる。

※「呼びかけ・働きかけ」は、地域・市民も関連する取組

※「乗車券」は、奈良交通も関連する取組

③交通事業者と連携した取組

短期	車内の広告枠 <ul style="list-style-type: none">・車内広告に地域枠を設ける。・デジタル広告を活用する。
中長期	サービスアップ <ul style="list-style-type: none">・高齢者等の昼の移動で利用しやすくする。・バスの乗り方や支払い方法を統一する。・バスのルートを変更する（例、昼間だけ買い物客のためにオークワ生駒上町店を経由するルート）。・車いす対応車両を二次元コードで分かりやすくする。・バス停にベンチを設置する。・バス停周辺のコンビニを待合空間として活用する。

④その他（意見、質問に対する事務局からの回答）

今後の三者協議の進め方

- ・今後の三者協議はどのように進めるのか。
⇒【事務局回答】
 - ・これまで通り、基本的には年度単位で地域主体の取組みを実施していく。
 - ・次回以降は具体的に取組みをどのように進めるのかを議論する。
 - ・路線バス以外（乗合タクシーが適した規模の輸送など）の話題・要望等は、この三者協議以外の場で必要に応じて議論する。
- ・継続した取組が必要である（1回だけでは変わらない）。
- ・何度も参加者が利用促進のアイデアを出しているが、生かされているのか。
⇒【事務局回答】
 - ・アイデア全てを実施するのは困難なので、皆さんと一緒に絞り込んだ上で、取組みを実施していく予定。
 - ・これまで出たアイデアも破棄されているわけではなく、次のアイデアを出すタイミングで改めて参考資料として共有する。

これまでの三者協議の取組

- ・実施した取組を報告してから三者協議を開始してはどうか。
- ・取組のPR強化と効果把握が必要である。

あすか野特別委員会からの提案内容

- ・あすか野特別委員会からの過去の提案に対する回答はどうなっているのか。
⇒【事務局回答】
 - ・提案については令和5年度第1回分科会で協議し、対応状況や方針を整理して生駒市HPで公表している。

(3) 次回について

- ・今後の開催曜日と時間、場所について話し合った結果、次回は平日夜に開催することとした。

- ・行政から、次回は6月頃に開催予定である。本日のワーク結果から、地域・市民が主体の取組に関するアイデアを整理して、行政から参加者へ後日送付するので、各参加者は今年度を実施したい取組を行政へ回答する。次回の三者協議では、選択人数が多い取組を今年度の取組の候補として事務局から提示するので、参加者はその中から実施したい取組を選択して、その具体的な内容を考える。との説明があった。

以上